

募集します
この広報誌が皆様に親しま
れ愛されるご意見やニュー
スをお寄せください。

Eno Times

可愛地区振興会 エノ タイムス

2015年(平成27年)
2月20日発行

可愛地区振興会
発行責任者 総務部

埃の宮神社より中馬方面への新年明けの遠景

ふるさとのは



尾根散策ルート

埃の宮神社



栄枯盛衰

地域の将来を考える

平成二十七年がスタートし二
力月になろうとしています。可
愛地区振興会の会員のみなさま
には、日頃の振興会活動にご協
力とご理解を賜り厚くお礼申し
あげます。

地域の安心安全を願う中、私
たちの住む地域への災害や犯
罪、交通事故といった脅威に対
して、皆さんの関心・情報量は
充分ですか。また、地域の活性
化や福祉に対して、様々な方策
がされていますがご存知ですか。
これからの可愛地区がどのよ
うに変わってゆくのか、変えて
行くのかは私たち次第です。

今回は、可愛地域の人口減少
の実態を明らかにします。

本誌では今後も、私たちの地
域の実情を詳しく報告しながら
更なる住みやすい可愛地区へ向
けて情報提供・記録を続けて行
こうと思えます。

本誌編集総務部

【上の写真は裏山レポートの
遠景です。尾根には玉が〜】

消防出初め式

一月十一日開催



分列行進の雄姿 (取材できなく昨年の写真掲載)
式典では左記の団員の表彰等があった

表彰状授与者(可愛地区該当者按群)

- 日本消防協会会長表彰
三〇年以上勤続章
第4分団 班長 青杉 勝利
第5分団 団員 岡本 隆昭
元第5分団分団長 朝川 道哉
元第6分団分団長 川本 正明
広島県消防協会会長表彰
特別功績章副団長 佐々木 勉
二五年以上勤続章
第4分団副分団長 常光 和幸
第6分団 団員 内山 信雄
一五年以上勤続章
第4分団 団員 武田 勇人
第4分団 " 武田 直人
広島県消防協会安芸高田支部長表彰

功績章

- 第6分団 団員 坂田 智弘
一〇年以上勤続章 岩本 武敏
第4分団 団員 沼津 康宏
五年以上勤続章 藤田 康弘

退団者(5年以上)

- 一一年 第5分団 団員 上田善志彦
七年 第5分団 " 藤田 康弘
新入団員

- 第4分団 団員 大内 香折
第5分団 " 上田謙太郎
" " 石田 慎治
第6分団 " 佐々木 聡

授与者の皆さん、退任者の皆さん大変ご苦勞様でした

主な行事結果紹介

書初め大会

書簡は松村氏作、振興センター中央壁に設置



竹原支部の松村氏を講師に招き、子供達二八名が参加しました。



第17回吉田町グランドゴルフチャンピオン大会 結果

入賞代表分

順位	チーム名
1	竹原No. 1
2	後相合
3	恩地
6	山手スマイル

第21回可愛地区グランドゴルフ大会 成績表

H26.10.18 開催			開催		
順位	チーム名	総スコア	順位	個人名	スコア
1	新屋郷A	226	1	川中 秋弘	32
2	宮ノ城1	240	2	米村 照子	33
3	山手スマイル	240	3	伊藤 文孝	34
4	竹原No. 1	240	4	森光 良彦	34
5	中馬ビー	241	5	吉田 常雄	35
6	本谷1	247	6	鎮波 房志	35
7	幸和会	254	7	森木 学	36
8	上新屋郷メダカ	254	7	才崎スミエ	36
			7	水田 邦夫	36

体育部会報告

【各部活動報告】

グランドゴルフチャンピオン大会へ、可愛地区から8チームが参加し、竹原支部チームが団体優勝!

可愛地区大会では、団体優勝の新屋郷Aチームが副会長から優勝トロフィーをうける。



早朝より、7支部から130名以上の参加があり、ホールインワンも多数達成しました。



活動報告

各支部からの報告です。

中馬支部



『栄枯盛衰』

今は取り壊されて
なくなっている覚永寺



上中馬中程の小高い所に、覚永寺というお寺がありました。江戸中期のころ、中馬村(下中馬・上中馬・中馬河内)村民と近在の方々の出宝により、個人寺(覚永氏)として覚永寺が建

設されたそうです。

大正の初め頃、覚永寺住職不在(医者へ転身)となり、中馬住民が中馬説教所として引き継ぎ、盆正月法要が営まれてきました。



長い年月で屋根が駄目になり、寺内に雨漏り等修復に膨大な費用を要し、やむを得ず解体を致すこととなりました。平成二六年三月法円寺住職により解体法要

を行い、更地といたしました。

栄枯の中馬村時代より三分の一の戸数が減少しているとも言われており、盛衰を感じながら解体を終了いたしました。(年代は推定)

(中馬支部長 森末盛男)

川本支部



川本支部本谷地区

川本支部本谷地域では、十一月二十三日地域の収穫祭に合わ

せ、本谷サロン活動の一環として、「振り込め詐欺犯罪」に備えて、可愛駐在所の横道巡査長・社協職員の方に来ていただき、勉強会を開催しました。

参加者により、「だます役」

「だまされる役」となり、解りやすい進行劇で詐欺の仕組みを勉強することが出来ました。大変だ!とあわてないで、まずは落ち着いて自分だけで判断せず誰かに相談することが重要のことでした。

会員からは、実際何人かが似たような電話を受けたことがあるとの報告もありました。今後もちっした講習を通じての心構えが必要だと感じたところです。

(川本支部長 金山 要)

【各部報告 続き】

女性部 女性のつどい開催

女性部では、十一月恒例の女性のつどいを開催し、グラウンドゴルフで親睦を図りました。



会長から、日頃の女性部への活動のお礼と励ましを受け、元気にグラウンドで カッコーン・・・

福祉部

♡友愛訪問♡



お世話はプロ顔負けの女性部の皆さんで瞬間に弁当の素材が出来上がりました

可愛地区在住のお年寄りに、女性部のお世話でおいしいお弁当を届けました。

当日は、一六三食分を用意し役員により各地域へ配布しました。



栄養価などバランスよく盛り付けられた弁当が、お年寄りに届けられます。

文化部

可愛地区文化祭

十一月三日 可愛小体育館にて多くの参加者により、盛大に開催しました。

いつも元気いっぱいのお可愛小低学年生による、よさこいソーラン踊りの参加。



当日は地域で働く中国人女性グループの歌も披露され、ほんとの多文化祭でした。

リサイクルバザーでの、各地区からの物品販売や可愛小学生の展示物。



地域からの多くの作品が展示され皆さんの関心を集めていました。



当日は、早くから多くの地域の皆さんが参加され、舞台の演目に見入っておられました。

自治懇談会の報告

二月十一日(水)

可愛振興センター 集会室



恒例になった、市行政との自治懇談会が振興部主催により開催されました。誌面の都合により簡潔にまとめられています。(複数の質問と回答を同列に記載)

当日市長からは、市の長期総合計画で①民間活力の活用②自助・共助・公助による健康づくりと危機管理体制づくりを柱に掲げ進めて行くこと。

財政状況を踏まえサービス低下のない職員削減での配置適正化や市民総ヘルパーでの健康づくり、結婚サポートによるこれまででの二十一組の成婚による定住策・ふるさと応援の会結成による安芸高田の知名度UPやふるさと産品販売、地元出身企業者など支援の輪の拡大・光回線整備での都市部との格差是正や情報発信、企業誘致・神楽や空き家活用での観光資源開発などの取り組み状況について説明がありました。

最後に地方創生事業の活用や市民の「もやい」の精神での介護による福祉のまちづくりに協力を呼び掛けられました。



今回も多くのの会員の参加がありました

◇各支部からの質問事項と回答

◇各支部からの質問事項と回答
A()内は回答先部署
竹原支部 Q

- ・竹原の河内地区の水害対策は
- ・砂田川の堆積土対策は
- ・市道の舗装要望(例)FKK、竹原住宅

- ・市水道の未配水区域整備要望
- A(産業振興部・建設部)
- ・床下浸水の原因は、ため池からの越水による下流水路の流量不足で、対策には水路の改修が必要。補助事業(地元負担あり)での対応となる。危険箇所の防犯灯要望については、一部補助による地元設置となる。



堆積土が目立つ砂田川中流

- ・小山支部からも同様の要望があり、砂田川の管理者である県に除去の要望を行う。
- ・市道腰舞、袋地線は国の補助基準外の路線(その他)であるが、修繕方法の検討をしてゆく。
- ・当初昭和五十年本管工事実施後は、分岐配水管は原則個人により負担して工事実施となる。
- 小山支部
- Q 砂田川の浚渫要望(竹原橋より下流・平田谷川床止め箇所)
- A(建設部)

- ・県への浚渫要望と平田谷川については市での早期除去を行う。
- Q 市道一本木小山線の交通安全全道路標識(徐行・減速の措置)等設置要望
- A(総務部)
- ・道路の規制は安芸高田署、道路管理者との協議となるが、検討する中で対応できるか難しい。
- Q 市道、既存林道の舗装・補修、横断側溝の改良は
- A(建設部)
- ・大將軍平岩線といい、その他路線であるが、現状把握の上検討する。
- 甲福支部

- Q 可愛橋歩道橋設置の進捗状況と今後の予定・その他
- A(建設部・総務部)
- ・国の補助を受けて、H25～26年に測量設計を実施、延長32m間を6mに拡張する内容で、H27年工事協議、H28年工事着手予定。



- ・橋の時間帯による交通規制については、具体的に見て行く必要もあり安芸高田署と協議する
- ・通知広報の回数減による市以外の通知時期の調整は個別にする。

川本支部

Q 小学校統合の進捗状況は

- ・現在の進捗状況
- ・問題になっている案件
- ・解決方法
- ・実施時期

A (教育委員会)

・昨年八月に準備委員会を設置、その後専門部会による十一月までの四回の総務部会で、通学方法・遠距離通学助成・放課後児童クラブ・学級編成等の検討、教育振興部会では、地域交流事業(特色ある教育活動・事前交流計画等)の協議を重ねられ、十一月の準備委員会でもとめ、その後、廃校の跡地活用・学校プールなどの協議中。

- ・関心が高い通学方法、通学助成、放課後児童クラブ、学級編成、跡地の活用など全般。
- ・グラウンドや体育館は社会体育や避難施設として当面維持し、校舎は撤去する事務局提案をしている。現在郷野地域でのまとめ

めをされている状況。

- ・平成二十八年四月の統合は、見送ることを準備委員会で確認されている。

Q お助けフォンの通報音で不快な音が流れるが・・・

A 緊急時の二種類の音があり、火災時の音と、国の緊急地震速報「Jアラート」の音が該当すると思うが全国共通で変更は難しい。少し調整中であるが、特殊な音として出さざるを得ない。緊急時の音として認識願う。

中馬支部

Q 油川の改修工事の進展は。

護岸の崩壊や土砂の堆積状況
工事が始まった一部護岸



未施工の上流

A (建設部)

- ・県の長期計画に無い為、浚渫等管理をしながら維持する状況
- 次期(二十八年度からの)五カ

年計画に載る様要望する。今後の災害対象降雨時での対象河川として候補にしておくことで、復旧工事改修も視野に入れていく。暫定工事区間(木柵工)は今年度、一部災害復旧工事で現在実施中。

Q 鳥獣害防止対策は。



家の庭先の畑まで遠慮なく進入している鹿・・・懸命に網柵を設置しているのに!

A (産業振興部)

- ・これまで鹿を三千三十三頭・猪を千八百八十七頭捕獲し、鹿は県内の捕獲数の半数を占める。
- ・現在新たに捕獲班を組織し、平日でも各町六名位で通報があれば対応できる体制にしている。
- ・箱ワナについては、現在捕獲班との連動で管理している。防止柵については、地域で対応願う。

山手支部

Q 獣害対策について

※中馬支部での回答参照

- ・獣害対策とは別に、鹿肉を加工し、ジビエ料理として活用する取り組みも行っているのを知を。(産業振興部)

防犯灯の管理要件・費用は

A (総務部)

- ・全て地元負担で設置かはその要件により判断をする。費用はLED仕様で3万弱位か(後で問い合わせを)専用柱は別

常友支部 今回出ていません

◇その他、参加者からの質問

Q 私はよく旅行するが、全国に安芸高田の名を広めて欲しい。

Q ニメートルの現況での市道改良は出来ないのか。以前原材の補助はあった。

A 市長 市全体のバランス・

決まり(市道改良基準)の中で施行している。生活道路での舗装事業など独自の取り組みはしている。

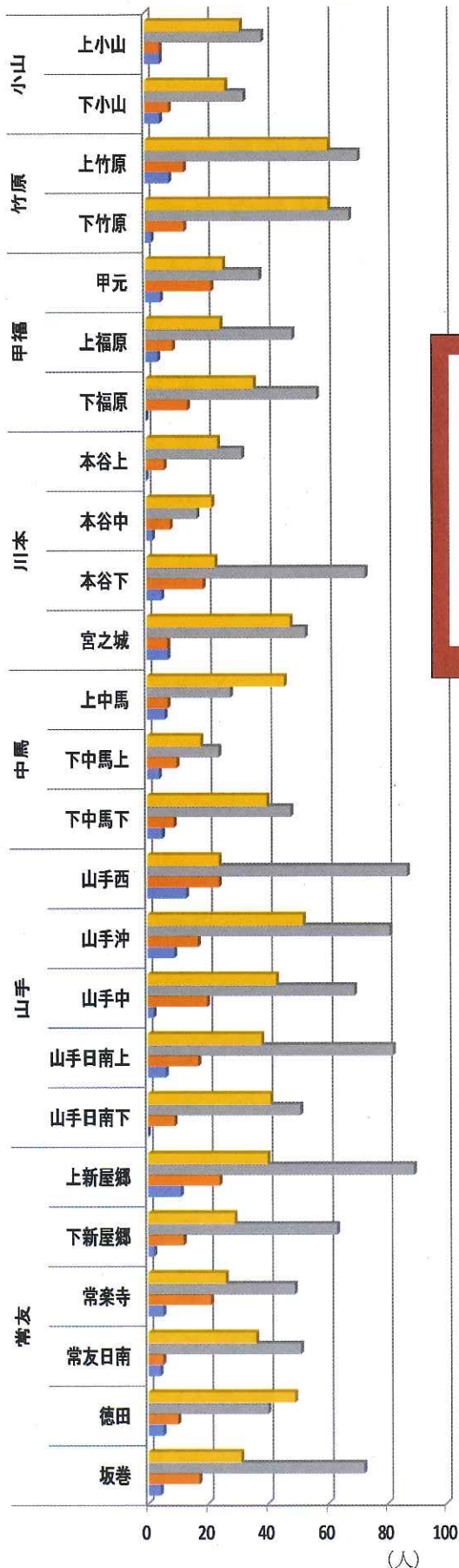
以上簡潔に当日の意見交換の内容を報告しました。詳しくは、直接担当部へお聞きください。

新レポート

『人口問題』について

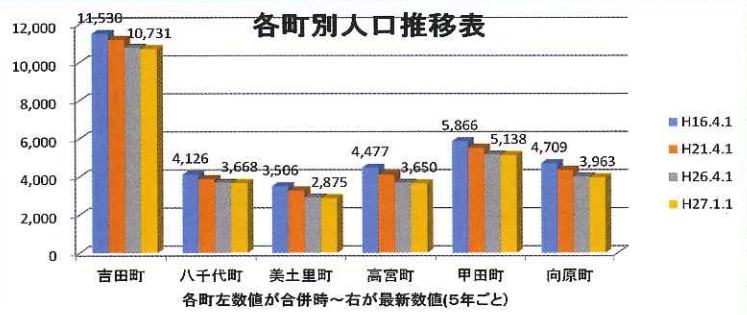
今回、この特集にあたり振興会顧問でもある市議会議員の方に、可愛地区の人口動態の調査資料の提供をお願いしました。合併後の十年間、各支部単位の各種数値(詳細数値は省いています)が出ています。結果を解りやすくグラフ化しましたので、自分たちの地域の実情を見てください。(外国人含まない数値)

年齢別(4段階) 人口構成表 7支部比較



この表では清風会、清風荘は除く(数値が大で表作成上困難)

各町別人口推移表

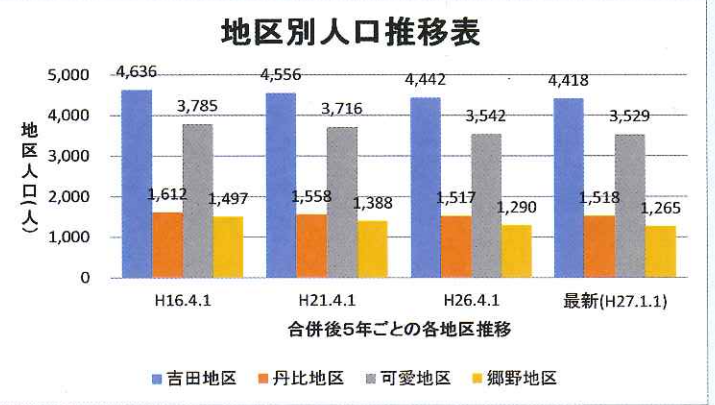


この資料をまとめる時期、丁度、安芸高田市地域振興事業団主催のまちづくり講演会があり聴講したところ、全国の市町から講演依頼が殺到してテレビ出演もされている、藻谷浩介氏の講演内容も、人口減少に関するお話でした。

まちづくりの基本が「ひと」であることや、自分たちの消費額の一割ほどを安芸高田市内で購買すれば驚くほどの効果額が生まれること、今の安芸高田市の人口減少以上に、(下に続く)

- 65~
 - 18~64
 - 6~18
 - 0~6
- 年齢構成(歳)

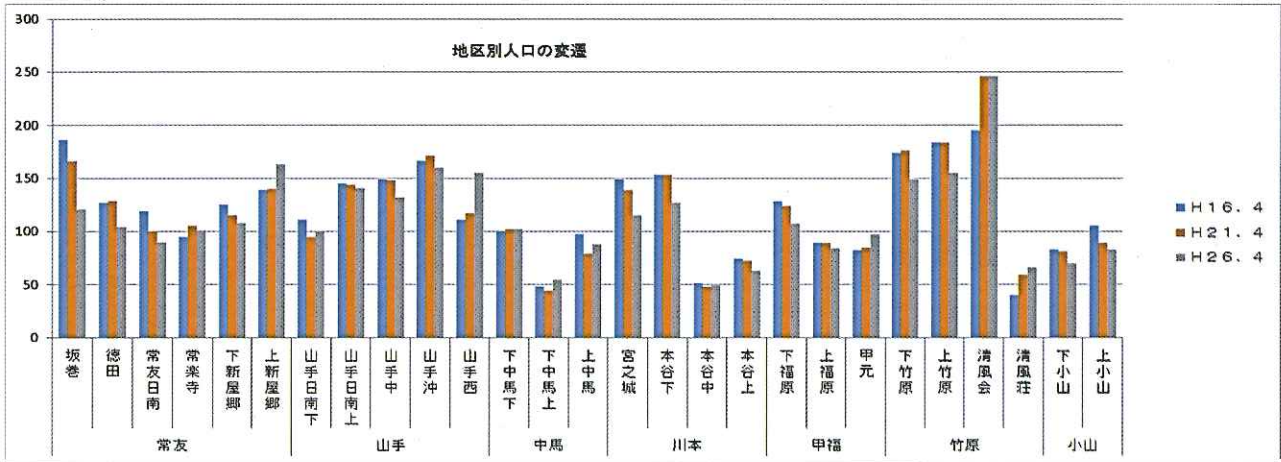
地区別人口推移表



広島市・東京都など大都市での今後の人口問題・高齢化の問題が深刻で大変になると言われていました。

隣の邑南町での子育て支援での、逆に人口増の現象が起きていることなど他地域の現状や、ある意味安芸高田市はまだ恵まれている環境・立地だが更なる努力をと話されていました。

いずれにしても、今後の動態に目を向けながら、担い手不足や子育て(婚活含む)ができる環境づくり・解決策に向け、知恵を絞りたいものです。



ふるさと再発見

工ノタイムス八月号での竹原支部からの活動報告にもありました身近な歴史文化への視点を可愛地区全域へ拡大して皆さんへ報告しようと思います。今回は、私の裏山にもお宝があったというレポートです。

十一月六日(木) 山登り

『城跡・古墳探索』

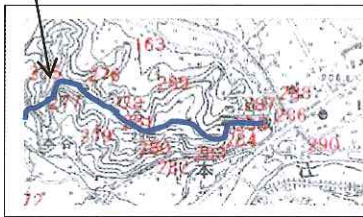
随行 地域振興事業団

文化課 課長 沖田 健太郎氏

地元 川井 宏、松浦博幸、新川

目的 本谷地区に存する「古墳」や「城跡」の状況を、視認・確認すること。沖田学芸員からの要望により、道案内をした。

道のり 山下宅から谷沿いに、耕作跡地の山道を登り始め、右に折れた尾根伝いに中馬堺、宮之城方面へ散策。(赤子古墳跡地)



中央の石組みは、昔の雨乞い跡を示すもので、ここで天の恵みを求める祭祀が行われていたのかと思わず天を仰ぐ。



人の背丈以上の土盛りが突然現れる。こうした古墳がこの地ですでに数基以上、教育委員会調査で確認されている。

(思いを記述)

次から次へと古墳らしき土盛りや思いもかけない平地が目の前に現れる。沖田学芸員には、遙か古代の墳墓の様子や、時折現れる「くるわ」の跡から、戦国時代の城の様子が見えているのだろう。足早に歩を進めたかと思うと、時には立ち止まってその大きさを確認されていた。

「ここを散策コース」にすればと、松浦さんも口に出しながら、でもやるとすれば大変なこと。次の言葉を濁されていた。尾根沿いには、小型の前方後円墳？らしき遺構も発見し、まだまだ面白い物語が展開するかも。沖田学芸員もまだ見飽き足りない様子で、再登山を希望されていた。今後しっかりとした調査が望まれると感じた山登りでした。次はどこに行こうか...



下入江に出土した

川井さんから、昔のこの地区のいわれを聞きながら、私も子供時代にこの裏山に登って遊んでいた頃の思いや、おじいさんに連れられて木を樵りに来たことを懐かしく思い出していた。またこれ程の遺構が、私達にもまだはっきり解る様に残っていることの驚きや、古代と中世の混在した時代の遺跡の存在に驚嘆しながら一緒に歩を進めた。